

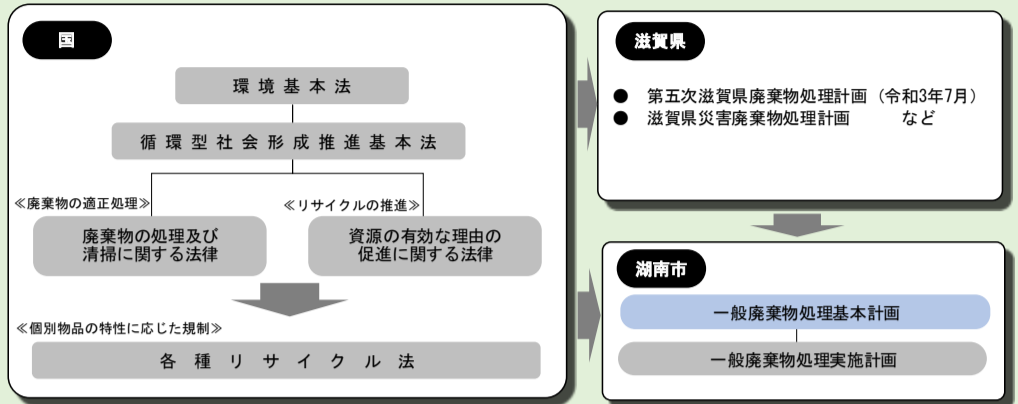
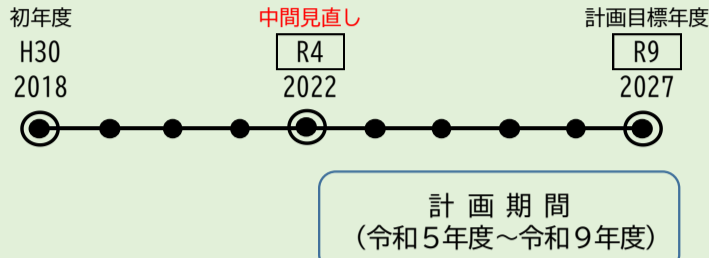
# 湖南省一般廃棄物処理基本計画（中間見直し）の概要

## 第1章 計画策定の主旨

### 1. 計画策定の範囲及び目的

湖南省（以下、「本市」という。）では、一般廃棄物処理基本計画（以下、「本計画」という。）を平成29年度に策定し、計画期間を平成30～令和9年度と設定していました。今回、本計画の計画期間が中間目標年度となり、ごみ処理行政、生活排水処理行政に関する状況も変化してきているため、見直しを行うこととしました。最新の情報に基づき、長期的・総合的視点に立った計画を策定し、更なる一般廃棄物の減量化、再生利用、及び適正処理を推進することを目指します。

### 2. 計画期間



## 第3章 ごみ処理の現況

### 1. 1人1日当たり平均排出量

過去5年間の平均排出量の推移を見ると、1人1日平均総排出量は減少傾向にあります。事業系ごみ1日平均排出量と1人1日平均集団回収量はゆるやかに減少傾向にあります。家庭系ごみ1人1日平均排出量は増加傾向にありましたが、令和3年度で減少しました。



## 第4章 ごみ処理基本計画

### 1. ごみ処理の基本理念・基本方針

本市では、市民・事業者・行政が一体となって3Rの取り組みを推進し、循環型社会の形成を図ることを基本理念とし、それに基づく5つの基本方針を以下のとおり定めています。

- ①発生抑制の推進
- ②排出抑制・資源分別収集の推進
- ③地球温暖化防止に向けたごみ処理施策の実施
- ④協働による3Rの啓発および実践を図る
- ⑤持続可能な循環型社会を構築する

### 2. 減量化・リサイクル目標の設定

本市では、資源化が可能な紙類の分別を徹底し半量を資源ごみとして排出すること、令和元年度に施行された「食品ロス削減推進法」に基づき、食品ロスの削減を推進し半量を削減することを目標とします。

表1 排出量の削減目標

	令和3年度 (現状)	令和9年度 (計画目標年度)	
		予測値	目標値
1人1日平均総排出量	756 g/人・日	707 g/人・日	684 g/人・日
R3年度比	-	6% 減	10% 減
1人1日平均家庭系ごみ排出量	517 g/人・日	542 g/人・日	511 g/人・日
R3年度比	-	5% 増	1% 減
事業系ごみ年間排出量	4,300 t/年	2,928 t/年	2,928 t/年
R3年度比	-	32% 減	32% 減

表2 リサイクル率の目標

	令和3年度 (現状)	令和9年度 (計画目標年度)	
		予測値	目標値
リサイクル率	12.6%	12.9%	19.5%
R3年度比	-	0.3ポイント増	6.9ポイント増

### 3. 減量化目標達成のための役割、方策

先に定めた減量化目標を達成するための方策を以下に示します。

基本理念	基本方針	施策	進捗	分類	基本方針5 持続可能な循環型社会を構築する	
市民・事業者・行政が一体となり循環型社会の形成を図る取り組みを推進し、環境にやさしい循環型社会の推進	基本方針1 発生抑制の推進	施策1.1 ごみ減量・資源化目標の進捗管理	重点	新規	[Icons representing various waste management goals]	
		施策1.2 ごみ減量・資源化の意識醸成	重点	新規		
		施策1.3 食品ロス削減	重点	強化		
		施策1.4 事業系ごみの発生抑制・減量化の推進				
		施策1.5 ライフスタイルの見直し		強化		
	基本方針2 資源分別収集の推進	施策2.1 ものを生かす「交換銀行」				
		施策2.2 リサイクルプラザの利用				
		施策2.3 資源分別回収の推進	重点	強化		
		施策2.4 再生品の利用促進				
	基本方針3 循環型社会の推進	施策3.1 家電リサイクル収集運搬委託事業				
		施策3.2 分別区分の周知		新規		
		施策3.3 有料化の実施				
		施策3.4 災害時に備えたルール・体制づくり		新規		

## 第5章 生活排水処理基本計画

### 1. 生活排水処理の現状

本市では、令和2年度において、96.2%が生活排水の適正処理がなされています。合併処理浄化槽人口、は、今後も減少傾向が続くと予測されます。



### 2. 処理の目標

本市の生活排水処理率、生活排水処理形態別人口の目標を以下のとおり定めます。

表3 生活排水処理率の目標

項目	年度	
	令和2年度	令和9年度 (計画目標年度)
生活排水処理率	96.2%	99.3%

※生活排水処理率：水洗化・生活雑排水処理人口÷計画処理区域内人口